

# すべての児童生徒が自分らしく学ぶために 「中野区不登校支援の基本方針」

## 「中野区不登校支援の基本方針」とは

全ての子どもが安心して生活できる教育環境を構築し、豊かな人間性をはぐくみ、未来を切り拓く力を伸長する目的のもと、中野区、区立学校・幼稚園、家庭、地域社会その他の関係機関が相互に連携し、総合的な対策を効果的に推進するための基本的な方針です。

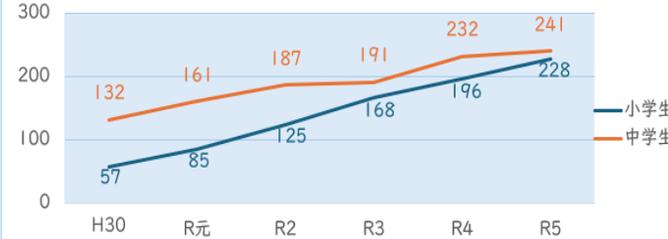
## 不登校の子どもへの支援事業

●学校での支援 ●オンラインでの支援 ●教育センターでの支援

	早期支援(予兆・傾向)	不登校支援(30日～)	長期化対応(90日～)
学校内	支援員が巡回する小学校校内別室の設置		
	支援員が常駐する中学校校内別室の設置		
	都費・区費スクールカウンセラー・心の教室相談員による教育相談		
	チャレンジクラスN組(中野中)		
	中学校不登校担当巡回教員の配置		
	エデュケーション・アシスタント等による支援(小学校)		
オンライン	オンライン授業の配信		
	バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)の運用		
学校外	教育支援室(FSR・中部・南部)の設置		
	教育相談室・学校に行きづらい子のための相談窓口での教育相談		
	学校に行きづらい児童・生徒の保護者会の開催		
	スクールソーシャルワーカーによる相談・支援		
	福祉や医療、地域等の相談・支援機関等との連携		

## 第1部 ～現状と課題の分析～

本区の不登校の小・中学生の数(人)



### 課題

- ・小・中学生ともに年々増加しています。
- ・出席日数10日以内の小・中学生の割合が国よりも高くなっています。
- ・不登校の子ども内、19.2%が、学校内外で相談・指導を受けられていません。

## 第2部 ～具体的な取組～

### ○基本的な考え方

「学校に登校する」という結果のみを目標にせず、子どもが自らの進路を主体的に考えられるように後押しします。

### ○協力体制



### ○方策

方策1 魅力ある学校づくりの推進	方策2 安全・安心な環境の提供
<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもを主体とした学校づくり</li> <li>○つながりを実感できる学校・学級の運営</li> <li>○学ぶ意欲を育む授業・教育活動づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「安心して学べる」学校づくりの充実</li> <li>○信頼関係の向上</li> <li>○いじめや教職員の不適切な指導等を許さない安全・安心な居場所づくり</li> <li>○「チーム学校」による児童・生徒の変化の早期発見・対応</li> <li>○相談しやすい体制づくり</li> <li>○保護者との連携</li> <li>○教員研修の実施</li> </ul>
方策3 多様な教育機会の提供	方策4 社会に開かれたチーム学校づくり
<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内別室(校内教育支援センター)の充実</li> <li>○オンラインによる学習支援と教育相談</li> <li>○教育支援室の機能強化</li> <li>○出席や学習評価の柔軟な取り扱い</li> <li>○チャレンジクラス(中野中N組)の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○切れ目のない支援</li> <li>○地域や関係機関等との連携の強化</li> <li>○中野区不登校支援施策の周知・啓発</li> </ul>

### ○目標指標

不登校の子ども内、学校内外で相談・指導や支援を受けた児童生徒の割合を100%にすることを目指します。